

No	要望等事項	対象部局等	回答	前回 No	資料	番号
1	<p>文部科学省から8月に「小6、中3、高3の最終学年以外の児童生徒に次年度以降を見通した教育課程の編成を認める」ことが告示されたが、以下について本市の考えを確認したい。</p> <p>1. 最終学年の学習不足の再編成の引継ぎはどのようにするのか。  2. それ以外の学年のカリキュラムの組み直しはどのように実施するのか。  3. 保護者への説明や教師の負担はどのようにするのか。</p>	教育委員会	<p>今年度中に未履修が発生することが予想された場合、まずは土曜日、冬休み等を活用して極力未履修が発生しないように努めますが、未履修が発生した場合には以下のとおり対応します。</p> <p>1. 最終学年に履修できない範囲が生じた場合、学習不足を補うために小中学校間や中高等学校間の連携が必要です。  小学6年生の多くは横須賀市立の中学校に進学します。市立の小中学校間の引継ぎを3月に行っており、その中で未履修の範囲を中学校に伝え、中学校の授業で補います。  中学3年生の進学先は県立高校が多いため神奈川県教育委員会に確認したところ、中学校で履修範囲をやり切る前提と考えているが、今後一斉臨時休校などがあった場合には国の動向など見ながら対応を考えていきたいとの回答がありました。市立高校も県立高校と同じ対応としたいと考えています。  高校3年生は進学先が多岐にわたります。県教育委員会からは、原則、高校で履修完了するとの回答がありました。</p> <p>2. 小学校においては現学年の担任が、中学校においては教科担任が未履修の内容を取りまとめ、次の学年に引継ぎを行い、次の担当が授業で取り扱っていきます。</p> <p>3. 保護者への説明は、通常どおり学校日より、HP等で通知するとともに、学期末の面談で進捗説明ができると考えています。  教師負担は未履修の内容については確実に次の学年の担任、教科担任に引き継ぎ、新しい学年の授業の中で取り扱っていきます。とりわけ中学3年生については各学校で進路指導の場面において情報提供や説明を行っています。</p>	新	②	70